

無料配布の就活冊子を4月創刊

△□○総合商事部が新事業

パティション事業等の(株)△□○(安佐南区中央4-1-23、生西健司社長)は、昨年8月に総合商事部を新たに立ち上げて就活支援事業に参入。4月に高校・短大・専門学校専用の進路指導冊子「Daikusuki!広島」を創刊する。

若年層の県外流出が課題となっている広島県において、地元定着率が高い高卒・短大卒・専門学校に特化した就活支援事業として展開する。同冊子で紹介する企業は、県内に本社または支社がある地元企業に限定する。

広島県内の教育委員会および私立関係機関の協力を得て、冊子は学校内

にもつなげる」と野上部長は言う。

冊子はA4判オールカラー。1社を1頁(2ページ分)で紹介する。進路指導の先生とも意見交換しながら、学生が興味を持ちそうな内容やデザインで構成。写真を多用し、仕事内容や職場の雰囲気、社長の想い、先輩社員の声などを判り易くまとめる。掲載料金は1冊(税別)39万8000円(制作費別添)。創刊号は約30社を紹介する予定。創刊号を契約企業には特典も付く。問合せEメール(og@340.co.jp)。

県市とイオンリテール 災害時の物資確保協定

県市は先月26日、イオンリテール(株)(千葉市)と災害時における食料

品・生活必需品の確保に関する協定を、県市役所で締結した。

この協定は、災害時において食料および生活必需品等の物資を確保し、被災地に供給する中で被災者の生活の早期安定を図ることを目的とするもの。

新原芳明市長(写真右)は「風水害はいつ起こるかわからない。有事の際に生活に必要な物資を調達できる体制にあることが重要」と話し、イオンリテール(株)西日本法人代表員(同左)は「同様の体制は全国で展開してお

り、広島県内では7月、イオン全体で取り組んでいることをこの地でも進めていく」と志した。

県市を襲った平成30年7月豪雨の時も、イオン(株)が流通網を駆使して、各種物資を支援した実績がある。

県市企業カイト2027 雇用促進協議会を発行

県市雇用促進協議会(事務局≪県市産業部商工振興課内≫)は、求人情報誌「県市企業カイト2027」を発行した。

同年内に事業所を有し、令和8年度に新卒採用の予定がある企業59社を掲載。2500部を作成し、商工振興課(県市役所本庁5階)や県内の大学・短大・専門学校などで配布する。



リレー放談
佐伯区を中心とした不動産売買とリフォームを主業務としています。平成21年に設立しました。不動産仲介だけでなく、自社で職人を抱え、リフォームまで一貫対応できる体制を築いています。

創業当初は西区で営業を始めましたが、顧客基盤はゼロ。地図と画板を持ち、白紙車でオーナー様を訪ね、名刺を配る毎日でした。最初の4年間には厳しい状況が続きましたが、地道な営業を重ねるうちに声をかけていただける機会が増え、事業も安定してきました。

不動産を週1地蔵を定気にするのが自慢です。空きテナントを専業主婦に明け渡し、街に明かりを燈す。その積み重ねが街おこしにつながる。恒しています。常に前を向くことを信条に、地蔵の可憐性を形にしています。今回は(株)△□○の佐藤社長。

「YOSHI KOMEKO LABO」の福田繁子代表は4月13日、パナソニックの元専務で一橋ビジネススクールの国戸隆彦客員教授を招き、「感性が強みになる時代の働き方」についてのセミナーを主催する。

自身は食パン専門店二本堂中通店(三原市中通1-15-1)を総務する主人の傍らで米粉を使ったシフォンケーキや焼き菓子などを販売。専業主婦に加入。登壇講演は「選別性職作の講義」や「腸活プログラムの講義」を展開している。

米粉研究・腸活を始めたきっかけは10年前にパン屋を創業し、小麦食を口にする機会が薄くなった頃に過敏性腸症候群と診断されたこと。自身が悩みを克服した経験を活かして「全国で一人を中ボトした」と説明する。

店舗販売を始めた米粉のパンや焼菓子は最近では、人々の食卓とともに販路を広がり始めた。小麦の代替品ではなく美味しさを追求しています。



社長に就任して、約半年が経過した。特に以前から取り組んでいる社員がより働きやすい職場の環境作りに注力している。将来的には、工場機械のリエントラを予定しているが、その段階として配車の運営管理や日程の組み方を作業内容を改善し、現場から上がってきた声を社内で共有して、会社として動くという仕組みに取り組んでいる。

そして大切にしているのが基本理念で社名にもなっているISC「イライテンライティス・サートレス・シリコンファイナンス」で、要約すると主体的にお客様に満足してもらえ、仕事をし、それを皆が誇りを持つて、信頼関係が築いていける会社にする」となります。そうして積み重ねてきた信頼関係があるからこそ、多くの企業が同社の「機密文書溶解処理」を利用する。

第3回 Good Practice カイト賞
2025年3月26日

中小企業新事業進出補助金 公募受付中!

新事業への進出により企業の成長・拡大を促し、中小企業の設備投資を促進!!
新事業への投資を目標とする中小企業の設備投資を促進!!

IS 株式会社CSサポート
本社:〒739-0001 広島県広島市東区中野1-17-13 TEL:082-504-0303
本庁5階 TEL:082-504-0303 FAX:082-522-2531 TEL:082-207-0877
central_info@isp.jp URL: https://www.isp.co.jp